

# 島原市

## 島

原半島の中腹を通る広域農道、通称「雲仙グリンロード」沿いを走ると、

いくつもの直売所に出会う。「舞岳の里」も、その一つだ。

店内に一歩足を踏み入れると、艶々とした見事な朝採り野菜が並んでいた。直売所を運営する橋本尚貴さんは「この地域は専業農家が多いので、品質がとて良いんですよ」と胸を張る。

舞岳の里は、一九九〇年に起きた雲仙・普賢岳災害の復興対策のプロジェクトの一つとして、二〇〇一年に十名の農家が集まって農事組合法人を設立したのが始まり。中には土石流によって農地を奪われた人もいたという。この時、代表理事を務めていた叔父から「経営を手伝ってほしい」と、白羽の矢を立てられたのが橋本さんだ。それまでメガネ店の店長として働いていた橋本さんにとって、農家の人たちの仕事や暮らしは目から鱗の連続だったそう。「直売所に並んでいた白菜を初めて見た時は、本当に驚きました。それまでこんなに大きくて立派な白菜を



香り豊かなマルセイユメロン



大きな「ジャンボ卵」にビックリ!



地元では「ガネ」と呼ばれるフリカギも。

見たことはありませんでしたから。これが島原の野菜かと、感動したものです。店内には野菜のほかに、有明海で獲れた魚介類や地元の菓子店が作る人気商品、目の前の厨房で手作りされるお弁当なども販売されている。また店の前の小さなプレハブでは「健康たまご」と名付けられた、地元の養鶏場自慢の卵も並び、「より生みたてを届けた」と、十時半から販売される卵は濃厚な味わいで、あっという間に完売になるという。

橋本さんは忙しいながらもどこか楽しげで、店内には温かな雰囲気漂っている。そこには、作る人と伝える人の心が通いあっているからこそ生まれる明るさがあった。

あれもこれも食べてみたい！  
島原の恵みをお土産に。



舞岳の里



Takeout Trip on the Shimabara Peninsula

雲仙市 島原市 南島原市

島原市

Shimabara City

旬の野菜を使った日替わり弁当はすべて手作り

いつ来ても旬の美味をお楽しみいただけます。ぜひ足を運んでくださいね。

橋本尚貴さん

## 畑の中の直売所 / 舞岳の里

